

令和4年7月3日から6日にかけての台風第4号および台風第4号から変わった 温帯低気圧による大雨について (和歌山県の気象速報)

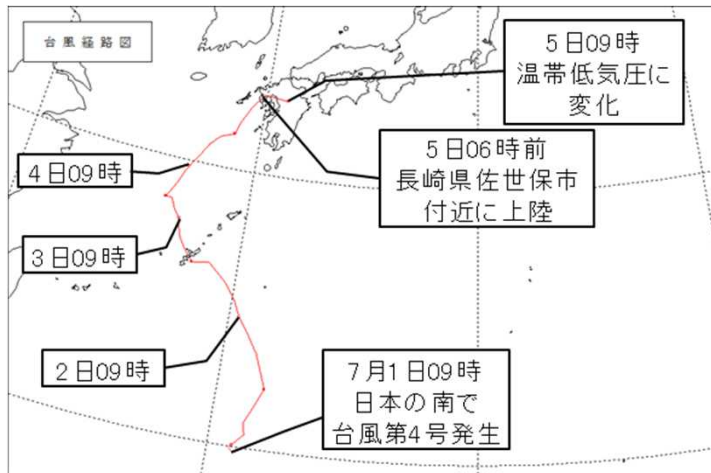
この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。また、本資料には欠測となった時間の観測データが含まれます。

概要

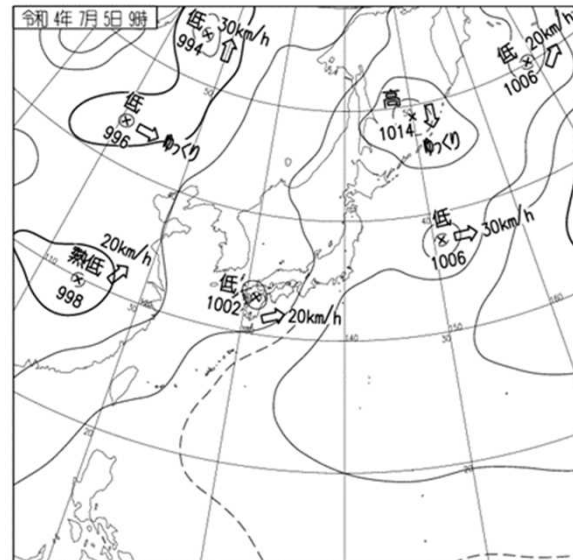
7月1日09時に日本の南で発生した台風第4号は、北北西に進み東シナ海で進路を北東に変えて、5日06時前に長崎県佐世保市付近に上陸、5日09時に九州で温帯低気圧に変わりました。その後、四国、紀伊半島を通過し、6日未明に東海道沖に進みました。和歌山県では、太平洋高気圧の縁辺や台風第4号や台風第4号から変わった温帯低気圧の東側から流れ込む、南からの暖かく湿った空気の影響で、7月3日から大気の状態が非常に不安定になったため大雨となりました。降り始めの3日01時から6日05時までの降水量は、潮岬で370.0ミリ、白浜町日置川で356.5ミリ、南紀白浜空港で290.5ミリを観測し、いずれも7月の平年の月降水量を超えました(平年の月降水量(7月) 潮岬:298.4ミリ、白浜町日置川:323.4ミリ、南紀白浜空港:279.6ミリ)。また、南紀白浜空港では、6日04時40分に7月の月最大72時間降水量の多いほうから1位となる290.5ミリを観測しました(統計期間:2006年~2022年)。この大雨により、紀中以南の市町村を対象とする大雨警報(土砂災害・浸水害)と、那智勝浦町を対象に土砂災害警戒情報を発表しました。

この大雨の影響で、みなべ町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、串本町に高齢者等避難情報が発令されました。また、道路の通行止めやJRの一部区間で運転見合わせ、フェリーの欠航がありました。

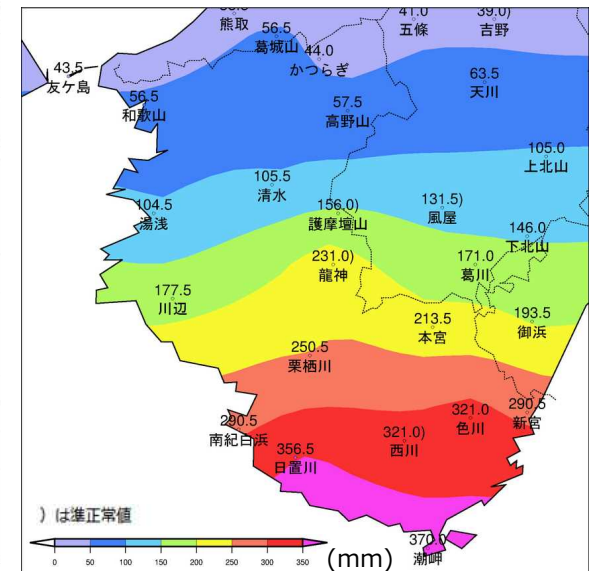
【被害状況:5日18時00分現在、和歌山県調べ】



台風経路図



7月5日09時 地上天気図



降水量分布図(7月3日01時~7月6日05時)